

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学病院では、研究倫理審査委員会の承認を得て、実施機関の長の許可のもとに下記の臨床研究を実施しています。

研究課題名	リバース型人工肩関節置換術後のQuality of Lifeの変化と影響因子について
研究機関名	金沢医科大学病院
研究機関の長	病院長：川原 範夫
研究責任者	金沢医科大学病院 リハビリテーションセンター 内田 加菜
研究参加拒否 申込受付期間	2030年2月28日 までにお知らせください。 上記の日付以降は、匿名化の処理を行い個人の判別が出来なくなるため研究対象からの除外は出来なくなりますので、研究参加の拒否をされる場合は期日までにお願いいたします。
研究期間	研究実施許可日 ～ 2030年 3月 31日
対象者	2020年4月～2028年3月までの間に、当院整形外科でリバース型人工肩関節置換術を受けた方
当該研究の意義・ 目的	今回の研究は、RSA患者に対し、Shoulder36を用いた術前後のQOLの変化を収集・解析し、それらに関連している因子明らかにすることで術後の予後予測やQOL向上のために重要となる因子を明らかにすることです。
方法および研究で 利用する試料・情 報の取得方法	本研究は、電子カルテ上でShoulder36および年齢・性別・身長・体重・BMI・可動域・筋力・疼痛等を収集し、得られたデータから術前後のQOLの変化を関連因子と共に解析します。この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。得られた研究データは、学内規程で定められた研究発表後10年間保管され、その後適切な方法にて破棄されます。この研究ではゲノム情報の取扱いはありません。
利用又は提供する 外部への試料・情 報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に 係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の間合せ先にご相談ください。
利益相反について	この研究の計画・実施・報告においては、金沢医科大学利益相反マネジメント規程に則って、適正に行われます。また、この臨床研究にご参加いただくことであなたの権利・利益を損ねることはございません。
資料の閲覧及び研 究対象者等の求め に応じて、研究対 象者が識別される 試料・情報の利用 又は他の研究機関 への提供を停止す る旨について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。この研究で得られる結果を実際の治療に結びつけるには、今後さらに研究を進める必要があります。今すぐ、個人の病気の治療などに役立つものではありません。以上のことから、今回の研究では、ご本人に関する解析結果をお知らせする事は想定しておりません。
間合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学病院 リハビリテーションセンター 内田 加菜 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-3511 内線（25291）

作成日：2026年1月5日